

課題になっている行動 (気になる行動)

慣用句や比喻などを
具体的に字義通り
イメージしてしまう



何回聞いても
絵が浮かんで
すでにホラー

「のどから手がでる」



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 ■ 影響を与える刺激や情報 本人がイメージできない表現で 伝えられている。 ■ 必要な支援がない 字義通りの解釈する特性への配 慮がない <input type="checkbox"/> その他 <hr/> ■ 行動前の状況※ 本人がイメージできない表現で伝えら れた	■ 受容コミュニケーション の特性：字義どおりの解釈 ■ 社会性・対人関係の特性 ：社会的な状況と合わせた意味 を理解できない ■ 注意・注目の特性 頭のイメージから切り替えるこ とが難しい ■ 関係理解 (意味理解) ・ 般化の困難さ：字義どおり の解釈 ■ 想像思考の困難さ	<input type="checkbox"/> 習慣になっているものがある ■ 自分流の気づき・考え方をもつ 字義通りイメージする ■ 過去に経験したこと学んだこと 意味を知っていても頭のイメージの 絵が浮かぶ <input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖 や嫌悪感をもっていること <hr/> ■ 行動後の状況・結果※ 混乱する 切り替えが難しい

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
	具体的な言葉の指示は理解できる	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？ ・先生・支援者間で本人にとっ てイメージできる表現を共通認 識する。	本人の特性にあわせた支援は？ ・本人の字義通りの解釈する特 性に配慮した言語指示で伝え る。情報は5W1Hで具体的に 伝える。 ・必要にあわせた文章や絵、図 などで意味を伝える。	本人に伝える・教える部分は？ ・その場でイメージが難しい場 合は、文章や絵、図などで説明 する。 ・自分のイメージを一旦終わり にする練習をする

解説と支援の方向性について

自閉症の人の特性として、字義通りの解釈があります。比喻や慣用句も、その字義通りとってしまいます。今回の内容はフィクションですが、自閉症の方の中には「絵が浮かぶ」と言われた人もいます。字義通り解釈することは、情報提供的に意識して、本人がこちらのイメージを絵で描けるように伝えることが重要です。